

研究課題【京都造血幹細胞移植グループの造血幹細胞移植データを用いた移植成績の解析】に関する患者さんへのお知らせ

京都大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科では、京都造血幹細胞移植グループ所属施設において自家・同種造血幹細胞移植が行われた症例を対象に、各疾患や各移植ソースを用いた移植成績の解析および予後予測因子同定に関する多施設共同研究を計画しています。

造血幹細胞移植は難治性造血器腫瘍の根治療法として確立した治療法です。しかし、移植方法の改良により、移植ソースは、HLA 適合同胞（骨髄・末梢血幹細胞）のみならず、HLA 不適合血縁、HLA 適合・不適合の非血縁骨髄・末梢血幹細胞・臍帯血にまで拡大しています。また 60 歳上の高齢者にも移植適応は拡大しています。最も合併症の頻度が低いとされる HLA 適合同胞からの寛解期移植においても移植関連死亡率は 10%-15%と決して低くはありません。他の移植ソースを用いた移植や高齢者に対する移植においては、移植関連死亡率は 15%-40%程度まで上昇します。そのため予後予測因子の解析等、移植成績を改善させるための継続的な研究が必要です。しかし、造血幹細胞移植件数は京都大学においても年間 50 例程度と多くはなく、また対象は様々な疾患や移植ソースにわたり、単一施設における解析には限界があるため、京都造血幹細胞移植グループ所属施設での移植症例の解析を行うことを計画しています。

情報収集する項目としては、年齢、性別、原疾患、治療内容、治療効果、各種検査結果、合併症の有無、移植前後の臨床経過が挙げられます。すでに診療において実施された内容であり、また日本造血細胞移植学会に報告されている情報を用いるため、追加の検査はありません。患者さんから得られた検体（血液や細胞）そのものを用いた研究は含まれません。研究成果は学会、論文にて公表を行います。データは匿名化され、個人情報保護されます。研究計画書および研究の方法に関する資料をご希望の場合は、研究責任者にご連絡頂ければ、他の研究対象患者さんの個人情報及び、本研究に関する知的財産の保護等に支障がない範囲内で、公表致します。情報を本研究のために使用されたくない方は、あらかじめご連絡いただければ解析対象から除外いたします。このような場合でも、治療において不利益を被ることはございません。ただし、既にどなたの情報かわからないように匿名化されていて除外不可能な場合には、ご希望に添えないこともあります。研究期間は、倫理審査承認日から 5 年間です。

<研究責任者>

京都大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科 高折晃史

<共同研究者>

京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学 近藤忠一

京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学 諫田淳也

京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学 渡邊瑞希

京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学 和泉清隆

京都市立病院 血液内科 伊藤 満

天理よろづ相談所病院 血液内科 大野仁嗣

天理よろづ相談所病院 血液内科 赤坂尚司

神戸市立医療センター中央市民病院 血液内科 石川隆之

関西電力病院 血液内科 平田大二

大津赤十字病院 血液免疫内科 竹岡友晴

滋賀県立成人病センター 血液・腫瘍内科 浅越康助

兵庫県立尼崎総合医療センター 血液内科 渡邊光正

大阪赤十字病院 血液内科 今田和典

小倉記念病院 血液内科 米澤昭仁

北野病院 血液内科 有馬靖佳

倉敷中央病院 血液内科 血液治療センター 上田恭典

倉敷中央病院 血液内科 血液治療センター 前田 猛

静岡県立総合病院 血液内科 野吾和宏

神鋼記念病院 血液内科 常峰紘子

京都桂病院 血液内科・輸血部 森口寿徳

日本赤十字社和歌山医療センター 血液内科 直川匡晴

日本赤十字社和歌山医療センター 血液内科 島津 裕

高槻赤十字病院 血液内科 安齋尚之

高槻赤十字病院 血液内科 坂本宗一郎

<問い合わせ先>

公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

血液内科 研究責任者 上田恭典

電話番号：086-422-0210